

試験方法：散布前日に試験区(法尻)に雑草(メシバ)種子を播種し、散布39日後に雑草発生本数を調査した。

試験日：2014年6月19日

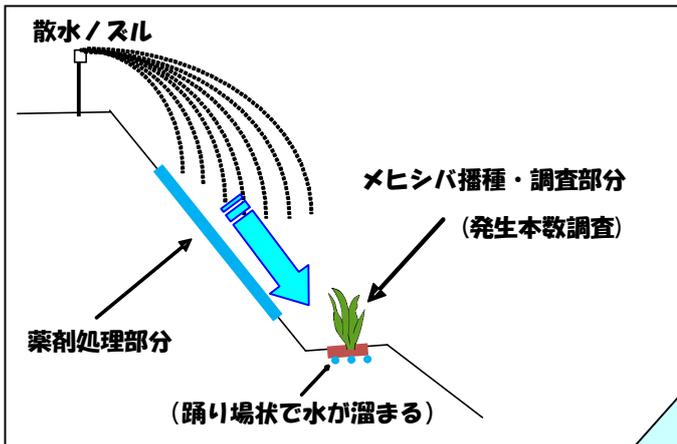
調査日：2014年7月28日(散布39日後)

使用薬剤：**グラフティ** 0.45 g / m² (7ルホキサム 50%製剤)

降雨量：183mm* (薬剤処理3時間後に散布)

試験場所：日本曹達(株) 小田原研究所 圃場評価研究部

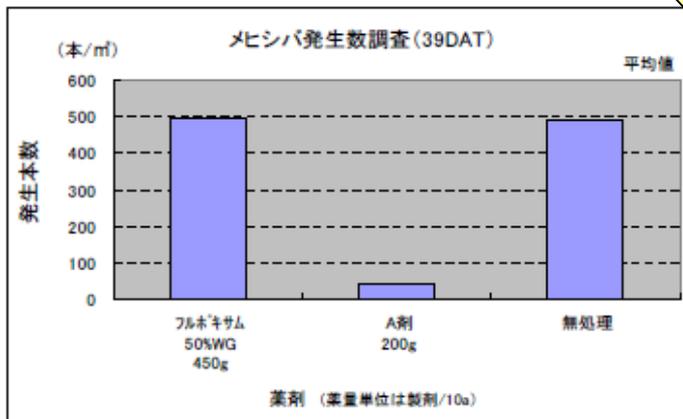
* 13:00~16:30間に散布した総水量



6試験区平均発生本数 44.5本



6試験区平均発生本数 3.7本



6試験区平均発生本数 44.2本

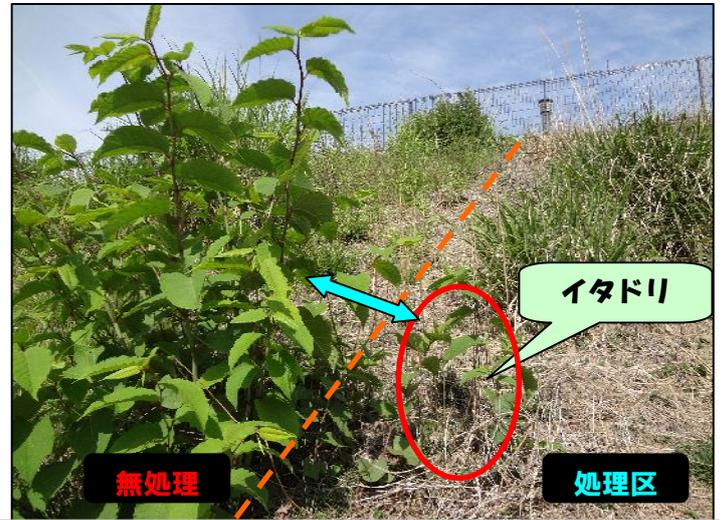
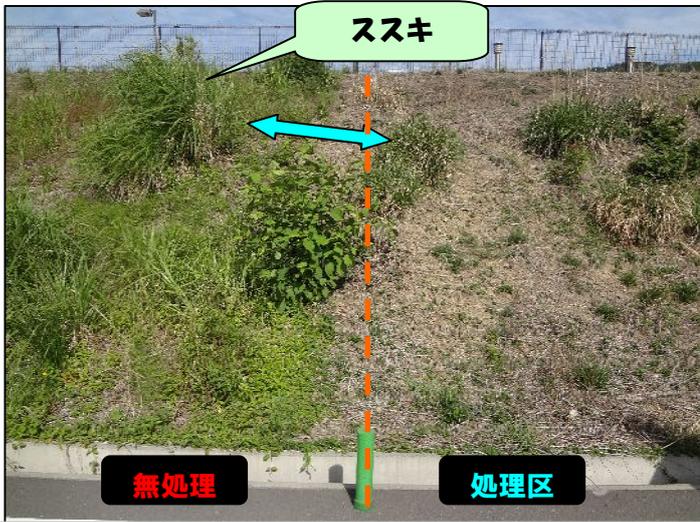
【考察】**グラフティ** の散布法面下方のエリアに播種したメシバが無処理区と変わらず発芽、成長していることから、薬剤成分の流れ込みはなかったと思われ、降雨の影響は受けにくい薬剤との結果であった。比較薬剤 A は成分が下方に流れ、メシバの発芽を抑制したと考えられます。

散布適期：11～3月

グリーンフィールド®
(植物成長調節剤)



グラフティ®
顆粒水和剤



広葉雑草が減少して、草丈の低いイネ科優占の緑地に変遷する

法面の強化・美観向上・草刈軽減

散布：2014年2月20日

撮影：2014年5月19日



撮影：2013年3月14日



撮影：2013年6月12日



撮影（接写）：2013年5月27日



撮影（接写）：2013年7月16日

散布：2013年3月14日 全ての雑草を枯らすことなく長期間にわたり自然風の景観となります。